

平成25年度 第4回府中市環境審議会会議録（要旨）

平成25年9月10日（火）
午後6時半から午後8時半まで
府中駅北第2庁舎3階第2会議室

- 1 出席委員 安藤正邦委員、伊東準一委員、加藤信次委員、清水淑子委員、石谷真喜子委員、川辺清二委員、増山弘子委員、宮地賢委員、金子富紀委員、竹内章委員（副会長）、玉山真一委員、塚原仁委員、榎本弘行委員、田中あかね委員、室英治委員（会長）（15名）
- 2 欠席委員 なし
- 3 事務局 加藤環境政策課長、遠藤環境政策課長補佐、宗村環境改善係長、監物環境保全活動センター担当理事、環境改善係海野サンコーコンサルタント株式会社2名
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事 報告
（1）第3回環境審議会会議録の確認
審議事項
（1）第1章から第5章までの検討（委員意見、庁内意見のまとめ）
（2）第6章重点プロジェクト、第7章推進体制・進行管理
- 6 資料 資料1 第2次府中市環境基本計画【素案検討資料】
資料2 第3回環境審議会及び審議会後に寄せられた提案と対応
その他 平成25年度第3回府中市環境審議会会議録【要旨】

【議事内容】

報告

(1) 第3回環境審議会会議録の確認

第3回環境審議会会議録に修正などがあれば、9月17日（火）午後5時までにメール・ファックスなどで事務局へ連絡をする。期日までに修正などが無ければ、本内容で公表する。

委員 前回、計画の1頁から2頁に、地球の日、環境月間などを大きな項目の所ではなく、細かい所で入れてほしいと提案したが、配布された資料を確認したところ、記載がなかった。府中市の動向として位置付けるために、改めて、2頁の最後から4行目に入れることを提案する。

事務局 入れることが良いのか、入れるのであればどこに入れるのが良いか、を含めて課題とさせていただいた。まだ、まとめきれていないため、地球環境を守ることは共通の責任として、適切に記載するための時間をいただきたい。

委員 4月22日が地球の日、6月5日が世界環境デイと決まっている。府中市の動向として、納めてほしい。昨今は環境破壊、異常気象がひどい状態なので、意識を高めるために啓発したい。そういう意味でこの言葉は大事なので入れていただきたい。

会長 今日の議事録で、今回の意見を確認させていただきたい。

委員 はい、結構です。

審議事項

(1) 第1章から第5章までの検討（委員意見、庁内意見のまとめ）

事務局 （資料1 第2次府中市環境基本計画【素案検討資料】第1～5章まで説明）
（資料2 第3回環境審議会及び審議会後に寄せられた提案と対応について説明）

委員 資料1、11頁の年平均気温のグラフに降水量が追加されたが、右上の凡例について、どちらが年平均気温か降水量なのかがわからない。

事務局 折れ線が年平均気温、棒グラフが降水量であるが、わかりにくいため調整する。

委員 26頁の公園のグラフに凡例がなく、わからない。

事務局 折れ線が1人当たりの公園面積、棒が都市公園面積となる。

委員 27頁の府中市景観賞の地図が小さく見づらく、37頁のアンケート結果がぼやけている。

事務局 最終的には調整をする。

委 員 第5章に、○市の環境施策、□市民の環境保全行動、△事業者の環境保全行動とあるが、△の表記に違和感がある。他の計画と整合性があるのか、照らし合わせて検討してほしい。

事務局 第1次府中市環境基本計画で、○・△・□を市・市民・事業者として使っている。他の計画なども含めて精査する。

委 員 グラフに「平成」の記載がなく、色々なグラフを使っているが、統一した方が美しい。

事務局 「平成」や「H」の表記など統一性がないので、精査してわかりやすい表記とする。

委 員 36頁の(2)府中市環境保全活動センターの下から6行目に、サポーター人数が23年度末である。24年度末、もしくは25年度末の数値とした方が良い。

事務局 まだ、素案検討資料では、最新の数値に直しきれていない。計画書では新しい数値を入れて適切に表記する。

委 員 47頁から49頁の農地の保全について、避難所としては、学校、文化センター、公園などがあるが、大地震の時に二十何万人の市民を収容しきれないことを考えると、農地はテントを張ることができ、井戸を掘って水を提供することもできる。農地の確保は大事であると農家の方が話していた。そういうことに全く触れていない。他の計画に記載があれば良いが、なければ農産物以外に、市民を守るために必要である。

委 員 農地の役割は多岐に渡るので、入れるとすれば防災の括りになる。

委 員 農地には環境面と防災面の両方がある。環境面でどう捉えるか、地球温暖化対策のために残す観点で、農地をどう表現するか。防災面ではなく地球環境問題において、農地は残さなければならない。府中市には多摩川があり涼しいが、都内から暑い空気が流れてくると一時的に上がり、急に暑くなる。埼玉県でも都内の暑い空気が流れ込み、ヒートアイランドで温度が上がる。そういう面で農地は大切であり、森林と同じく残すべきである。農地は環境面から捉えた方が良い。

会 長 色々な意見があるが、網羅的に広げるのではなく、焦点を絞って環境基本計画をまとめた方が良い。環境基本計画に防災面も入るかどうか確認することで良いか。

委 員 はい。

委 員 けやき並木の「けやき」はひらがなからカタカナ表記になったが、理由はあるのか。本当はどちらなのか。

事務局 「馬場大門のケヤキ並木」の時にはカタカナが正式な名称である。単体の「けやき」、正式名称でない「けやき並木」は、確認する。環境基本計画では規則性と統一性を持たせる。

事務局 調べている途中であるが、固有名詞として使う場合は、カタカナ表記のものは確立している。市民への市の広報でのお知らせには、明確な決まりがない。他の計画でも混在している。最終的には、一定のルールを作り、取りまとめたたい。

委員 棒グラフの数字が線上にあるので、棒グラフに横幅を広くしてほしい。全ての表に年数と年度を入れてほしい。昭和、S、西暦と表記がバラバラであり、西暦だと何年度であるかわからなので、統一してほしい。凡例を外に出して大きくしてほしい。

道路とごみに関して提案したが、環境はごみと道路の問題が半分を占める。町や道路が汚く、街並みや美観が悪いことは景観に繋がる。ダストボックスが廃止され、ごみ戸別収集が始まり3年近く経つが、ポイ捨て、不法投棄が多い。わざわざ有料袋に入れて、家に持ち帰る市民はあまりいない。道路とごみの問題は、担当課に強く申し出てほしい。インフラも40年近く経ち、陥没・亀裂箇所があり、自転車やバイクの走行時に、側溝の近くの亀裂にタイヤを落とすなど、危険を感じる。道路補修は費用がかかり、担当課で対応が無理ならば、府中市インフラマネジメント白書や計画に文言を入れてほしい。

事務局 環境基本計画は、総合計画を実現するための環境分野の基本計画という作り込みをしたい。どのように目標を達成するか、細かい部分は計画ではなく、各所属で別の次元で掘り下げる問題だと認識している。基本的に環境基本計画では9年間で進めていく道筋を示すことで対応する。

委員 65頁の②リサイクル・ごみ減量の推進に、リサイクルフェスタが2行ある。

事務局 グラフや表は、現状でのデータを掲載しているが、最終的にできる限り新しいデータとする。内容が重複した部分は、前計画から抜き出して利用しているため、統合できる部分はまとめて表現する。

委員 今はリサイクルフェスタではなく、環境まつりに統合されている。

会長 こうした部分は修正していただく。他に気づいた点があれば、事務局にメール、FAXなどで申しあげていただきたい。

(2) 第6章重点プロジェクト、第7章 推進計画・進行管理

事務局 (「第6章 重点プロジェクト」「7章 推進計画・進行管理」について説明)
(指摘、修正事項: “第4章「環境施策と各主体の行動」”を第5章に修正。「重点プロジェクト2」“安心・安全な地球、そして府中市を守り育てる環境づくりプロジェクト”を“安全・安心な〜”に変更する。)

委員 庁舎を建て直す計画があるが、新しい庁舎では環境対応をするのか。重点プロジェクトに、明快にこういう庁舎ができ、予定していると明記した方が、市民にわかりやすい。

事務局 新庁舎をどの様にするのか、市民参加の協議会などの担当が今年度作られ、具体的に進行している。環境基本計画で触れないのではなくて、核になる部分は触れるが、重点プロジェクトの取組とは別のところで具体的に進めていく。担当課としては財政的な面

もあるが、数十年間、使い続けるため、防災面・安全面はもとより環境面でも十分配慮したモデル的な庁舎にしてほしいという希望はある。

委 員 いつできるのか。

事務局 明確にはまだ決まっていない。環境審議会の会長も参加しており、議論が進んでいる。基本的なプランは、現庁舎がある場所が市の中心なので良いという方向である。

委 員 現庁舎を壊して新たに作るのか。

事務局 その計画案が最有力である。

会 長 知る範囲では、設計者が決まり、設計コンセプトの検討をしている。

委 員 市民計画的なことも含め、新庁舎のことを入れれば市が率先して取り組んでいることが分かりやすい。環境に対応する庁舎が完成するのであれば、入れておくべきである。

会 長 市の各課の水平展開、コラボレーションがうまくいきつつある。今の意見が新しい庁舎に活かされていく。

事務局 環境の部署としては、環境対応の庁舎にすることが一番の主張である。防災の所管では災害時対応の機能を持つ施設、福祉の所管ではバリアフリー中心の福祉対応、という色々な意見がある。それぞれが主張し合い、より良い庁舎になる。財源の議論も必要になる。庁舎は市の職員が使わせていただくものであるが、市民にも使いやすく、愛され、長く安全に使う庁舎ということで、環境面の配慮については環境審議会委員の力を借りながら意見を主張したいので、支援をよろしくお願いします。

会 長 6章・7章では、基本的なアウトラインについて、事務局で再整理していただき、細かい議論にしていきたい。

委 員 重点プロジェクト2の地球温暖化があるが、府中市だけではどうにもならない問題が多くある。放射能や地球温暖化の問題は、緊急の課題である。他の区市町村との連携が必要である。

委 員 そういう視点が重要である。特に温暖化に関しては、近年悪化しており、気象状況も、去年はひどい状況になっており、府中市内でも様々な問題が生じている。計画に入れることで、意識を変えるための表現も必要である。都、国の話になると、テクニカルな部分も多々あるが、府中市の要件としておきたい。

委 員 ごみ処理施設はどうなっているのか。府中市が二十何万人もいる中で施設を持っておらず、稲城市に依存している。10年間でごみを50%まで削減したいと言っていたが、現実には達していない。稲城市に頼り、莫大な費用がかかっている。施設を作る予定はあるのか。府中市はこれだけの都市だから、温暖化も含めた自前のごみ施設も考えないといけない。小金井の二枚橋の問題はどうなったのか。

事務局 当時、二枚橋衛生組合で府中・小金井・調布の3市共同でごみを処理することで進んできた。施設の老朽化などがあり、府中市では、稲城市にあるクリーンセンター多摩川の焼却場を活用し、府中・稲城・狛江の3市での運営になった。その後、国立市の清掃工場の老朽化に伴い、クリーンセンター多摩川では、国立市のごみ量の受け入れも十分可能であるため、現在は4市で運営している。多摩川衛生組合は一部事業組合であり、稲城市だけのものではなく、構成市4市の施設であるため、力を合わせてごみ減量に取り組み、運営する方針である。二枚橋衛生組合は解散し、調布市は、三鷹市と共同でふじみ衛生組合として可燃ごみを処分している。小金井市がどのように対応するのか問題となっているが、本市の主張としては、それぞれの自治体の責任で運営・解決していくべき課題と考えている。

委員 稲城市の清掃工場はいつ頃まで、もって何年くらいか。

事務局 何年にクリーンセンター多摩川が設置され、一般的に炉が何年もつのか、資料無しでは回答できないので、確認して回答する。先進的な清掃工場といわれており、発電機能もある。放射能問題では、被災地のがれきを受け入れてもバグフィルターなどの安全な機能があるので、受け入れの対応をした。いつかは改修・建替えになるが、耐用年数は、使い方次第で、長い寿命、短い寿命になる。構成4市で議論をしているので、どのくらい対応できるのかは次回に報告する。

次回について

事務局 次回、第5回環境審議会は10月1日（火）の午後6時30分から、第6回は11月5日（火）に、府中駅北第2庁舎会議室で開催する。

会長 第5章までの意見があれば、事務局に伝えていただく。時期はいつ頃まで良いか。

事務局 9月20日までにする。

その他について

会長 これで本日の議題は終了となる。その他に意見はあるか。

委員 市・市民・事業者の取組を色別で青・緑・茶色にしてはどうか。

事務局 これは実際の計画書でのことか。

委員 実際に製本として作る場合である。

事務局 今は資料としてわかりやすくする意味で色分けをした。

委員 計画書の構成は全部が黒になるのか。

事務局 第2次環境基本計画では、基本的に文字は黒になる。挿絵・写真・表などは、見やすさを考慮して色をつける。

委 員 資料2の空欄部分の対応はどう理解すれば良いのか。対応できないということか。

事務局 現在、調整中として読み変えていただきたい。

会 長 いつまでに調整し、埋まるのかがわからないと、施策が明確に出せない。

事務局 空欄部分に対応を入れたものを早急に渡せるようにする。

会 長 いつまでか。

事務局 明確にいつまでに回答できるかは申しあげられない。対応を入れたものをお渡しできるようにする。

委 員 関係担当課、先方の都合もあるのではない。

会 長 できるだけ努力をして、情報が入り次第、各委員に知らせていただきたい。委員には9月20日までに提案を出していただく。関係各課との調整後、大きな違いが出た場合は、次回の審議会で諮ることとする。

委 員 議事録を読んだが、簡素化しても良いのではないか。会議の議事進行や、決定に関する事項を中心として、割愛した方が良い。

会 長 読む方も大変なので、いいアイデアである。

委 員 ダイジェスト版で、決定した内容だけにするなど、ペーパー1枚程度でどうか。

委 員 A4版で、1、2枚で良い。

事務局 昨年の審議会でも、詳細な議事録は時間がかかるため、概要版で良いということで、要旨とした。今、提示しているものが要旨になる。さらに概要にする作業が、事務担当者としては厳しい部分がある。私の意見は消えたが、この意見は残っているなどの判断も必要なため、今の意見を頂戴したうえで、要旨を簡潔にする方法を検討する。

委 員 情報公開もあるので、切り過ぎるとわかりにくくなることないように、情報公開の面を考慮していただきたい。

会 長 今日の審議会の議論については、決定事項も明確になったという解釈で、これにて終了する。

以 上